

# 地域包括支援センターの担当地区の検討案

資料8

		想定される状況	各地域包括支援センターの担当する高齢者人口(第1号被保険者数)*
A案	現状の区域割を維持する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者と現在の地域包括支援センターの関係性・繋がりが維持される。</li> <li>・3つの案の中では最も事業費が少ない。</li> </ul>	ゆず：6,624人 あい：6,590人
B案	茅ヶ崎南地区に新たに地域包括支援センターを整備する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅ヶ崎南地区を2つの地域包括支援センターが担当する状況が継続する。</li> <li>・高齢者人口が6千人以上である地域包括支援センターが、3つの案の中で最も多くなる。</li> <li>・地域包括支援センターの職員は2つの地区の会議等に出席する状況が継続し、業務負荷が大きい。</li> </ul>	ゆず：4,774人 あい：4,952人 新包括：3,488人
B案		<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅ヶ崎南地区をひとつの地域包括支援センターが担当するようになる。</li> <li>・高齢者人口が6千人以上となっていた「ゆず」「あい」の高齢者人口が平準化する。</li> <li>・高齢者人口が6千人以上である地域包括支援センターが、3つの案の中で最も少なくなる。</li> </ul>	
B案		<ul style="list-style-type: none"> <li>・3つの案の中では最も事業費が多くなる。</li> <li>・新たな運営法人の公募が必要となる。</li> <li>・茅ヶ崎南地区の利用者は、現在の地域包括支援センターとの関係性・繋がりを継続できなくなる。</li> </ul>	
C案	茅ヶ崎南地区を既存の地域包括支援センターの区域に編入する場合	<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅ヶ崎南地区をひとつの地域包括支援センターが担当するようになる。</li> <li>・B案と比較すると事業費が少ない。</li> <li>・受け入れる区域の利用者は、現在の地域包括支援センターとの関係性・繋がりを継続できる。</li> </ul>	(ゆずに編入する場合) ゆず：8,262人 あい：4,952人 (あいに編入する場合) ゆず：4,774人 あい：8,440人
C案		<ul style="list-style-type: none"> <li>・茅ヶ崎南地区も担当することになる地域包括支援センターの高齢者人口の規模が8千人を超える。</li> <li>・編入される区域の利用者は、現在の地域包括支援センターとの関係性・繋がりを継続できなくなる。</li> <li>・編入する地域包括支援センターの職員は2つの地区の会議等に出席することになるため、業務負荷が大きくなる。</li> </ul>	
D案	その他		

\* 高齢者人口は、平成29年2月1日現在